平成26年度　指定管理者施設管理評価シート

部	福祉部	課	高齢福祉課

施　設　名　称	〔23〕	東京都台東区立やなか高齢者在宅サービスセンター		
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1	～　H27.3.31

１．指定管理者の概要

(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。
(2)類似施設の管理実績	あさくさ・うえの・みのわ高齢者在宅サービスセンター
(3)経営状況	（25年度決算ベース） [社会福祉事業会計]歳入2,763,451,917円,歳出2,671,778,593円,収支差額91,673,324円

２．施設の概要

(1)所在地	台東区谷中２－１７－２０
(2)設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(3)利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日（年始１月１日～２日を除く）８時３０分～１７時１５分
(5)規模	延べ床面積　2,794.36㎡の内380.28㎡　鉄筋コンクリート造地上３階地下１階のうち１階の一部
(6)人員体制	１１名　内訳…事務員（非常勤１）、介護職員（常勤３、非常勤６）、看護職員（非常勤１）

３．事業（サービス提供）の概要

(1)委託事業	①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）、②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員３５名）
(2)自主事業	自主事業は行っていない

４．予算決算の推移

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	12,739,000	11,539,005	10,302,000	5,650,000	5,650,000
	利用料金収入	82,386,000	87,212,000	82,577,000	81,534,000	82,877,000
	その他収入	5,142,000	1,879,995	3,378,000	870,000	1,440,000
	管理経費	100,267,000	100,631,000	96,257,000	88,054,000	89,967,000
決算	委託料	12,739,000	11,488,562	10,302,000	5,650,000	5,650,000
	利用料金収入	78,908,487	88,676,598	87,885,401	96,109,270	81,302,032
	その他収入	171,303	3,180,850	2,953,266	3,927,054	1,792,000
	管理経費	97,058,935	93,485,443	87,849,757	82,936,736	95,280,532
	収支	-5,240,145	9,860,567	13,290,910	22,749,588	-6,536,500

５．施設の稼働状況等（活動指標）

指　標　名　称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
開館日数	日	312	313	310	311
定員	人	35	35	35	35

６．成果指標

指　標　名　称	単位	目標値（27年度）	23年度	24年度	25年度
利用率	%	86.0	90.7	99.4	97.2
利用者数	人	9,340	9,938	10,784	10,577

７．平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

入浴サービス枠の拡大や専門療法士によるリハビリを毎日実施するなど、サービスの向上に取り組んでおり、高い利用率を維持している。

８．評価項目

3：協定等の水準を上回っている。
2：協定等の水準どおりである。
1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
0：協定等の水準を下回っている。
-：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[-]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[3]		
(4)収入支出 平均 [1.8]	(a)適正な予算執行	[1]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

９．評価

S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
D（水準未満）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	サービス向上のための様々な取り組みを行い、施設の事業運営は適切になされている。また、職員一斉メール通報訓練など、職員の防災意識を高め、緊急時対応に取り組んでいる。
(2)施設の維持管理	A	老朽化した施設を管理運営していく中で、各種の保守点検及び清掃・衛生管理について、全体的に適切に行われている。
(3)利用者の満足度	S	利用者満足度調査では、概ね高い評価を得ている。利用率は高い水準で推移しており、地元町会の祭りや行事へ参加するとともに、近隣三町会と合同で防災訓練を実施するなど地域との連携も積極的に図られている。
(4)収入支出	B	介護給付費算定の誤りに伴って返還額が生じることとなり、管理経費が増加した。算定の誤りは速やかに是正しており、現在は適正な算定を行っている。

１０．総合評価

良好　妥当　要努力　要改善　不適

要努力

サービスの充実に努めており、利用率は高い水準で推移している。介護給付費の算定において、誤りが認められたため、適正な算定を行うことが求められる。

１１．平成26年度評価結果に対する今後の対応

今後も利用率の維持に努めていく。介護給付費の算定については、算定の誤りを未然に防止するための体制を強化するなど、適正化を図っていく。